

金原地区土地改良事業に係る井戸試掘調査業務委託 特記仕様書

第1条 適用範囲

この特記仕様書は相模原市が令和8年度に実施する金原地区土地改良事業に係る井戸試掘調査業務委託に適用する。業務の実施にあたって本仕様書に明示なき一般事項は、「相模原市土木設計業務等共通仕様書（以下「共通仕様書」という。）」によるものとする。

第2条 業務目的

本業務は金原地区土地改良事業における水源確保を目的とする井戸設置に向け、令和7年度に実施した「金原地区土地改良事業に係る井戸調査業務委託」の調査結果を元に、井戸設置候補地（3箇所）について試掘調査を実施し、地下水の分布、水量、水質等の調査を行うことを目的とする。

第3条 業務期間

業務期間は、契約日から令和9年3月31日までとする。

第4条 業務内容

業務内容は井戸設置候補地において、ダウンザホールハンマ工法（2箇所）、ロータリーバイブレーション工法（1箇所）にて試掘調査を実施し、調査結果を報告するもの。

（1）ダウンザホールハンマ工法（エアハンマー工法） 2箇所

- ① 掘削深度 60m
- ② 口径 150mm
- ③ ケーシング JIS-G-3452（配管用炭素鋼鋼管）の黒菅による JIS マーク表示品
- ④ スクリーン 150A スリット加工（6孔千鳥） 2.75m/本 4本 挿入長 11.0m
- ⑤ 揚水試験 水量確認（限界揚水量及び適正用水量を求める）
揚水試験は予備揚水、連続揚水試験、段階揚水試験及び水位回復試験
- ⑥ 水質試験 設計指定項目とし、公立の保健所、試験所又は認定の試験所に依頼して行う
- ⑦ 成果品
 - ・地質標本は、プラスチック製瓶に密閉し、ケースに取りまとめて整理した地質標本ケース組を提出
 - ・地質柱状図は、前項の資料を基に作成し提出

（2）ロータリーバイブレーション工法 1箇所

- ① 掘削深度 60m
- ② 口径 150mm（掘削口径 283.4mm 以上）
- ③ 電気検層 電気検層（比例抵抗）は掘削完了後ケーシング挿入前に行う
- ④ ケーシング JIS-G-3452（配管用炭素鋼鋼管）の黒菅による JIS マーク表示品
- ⑤ スクリーン 巻線スクリーン V スロット型（5.5m/本 3本 有効長 15.0m）
※設置位置は検層結果により決定
- ⑦ 砂利充填 ケーシング及びスクリーン挿入後、掘削孔との隙間に充填

- ⑧ 遮水 充填砂利上部にセメント遮水
- ⑨ 揚水試験 水量確認（限界揚水量及び適正用水量を求める）
揚水試験は予備揚水、連続揚水試験、段階揚水試験及び水位回復試験
- ⑩ 水質試験 設計指定項目とし、公立の保健所、試験所又は認定の試験所に依頼して行う
- ⑪ 成果品
 - ・地質標本は、プラスチック製瓶に密閉し、ケースに取りまとめて整理した地質標本ケース組を提出
 - ・地質柱状図は、前項の資料を基に作成し提出
 - ・柱状図には、電気検層図を併記する

第5条 井戸試掘位置及び工法

別紙「井戸試掘調査予定箇所位置図」「施工予定図（ダウンザホールハンマ工法）」「施工予定図（ロータリーバイブレーション工法）」のとおり。

第6条 報告書作成

報告書の構成は次のとおりとし、ダウンザホールハンマ工法、ロータリーバイブレーション工法それぞれについて作成する。

（1）報告書の構成

- ① 調査概要
- ② 地質標本
- ③ 地形・地質図
- ④ 地質柱状図
- ⑤ 揚水試験記録
- ⑥ 水理解析図
- ⑦ 水理解析結果
- ⑧ 工事記録写真
- ⑨ 取水可能量及び影響範囲

（2）成果品

- ① 報告書（紙媒体） A4サイズ 3部
- ② 報告書（電子媒体） PDFデータ（DVD-R等で提出）

第7条 土地の立入り

受託者は、作業を実施するため、第三者の土地に立入る場合は、予め関係者と緊密な連絡を取るなどして、業務の円滑な遂行を期さなければならない。

第8条 個人情報の取扱い

受託者は、本業務を行うに当たり、共通仕様書第31条を遵守する。

第9条 打合せ

受託者は業務着手時及び報告書原稿完成時に委託者と業務内容について打合せを行う。

第10条 その他

本仕様書及び共通仕様書に定めがない事項または本業務の実施にあたり疑義が生じた場合は、発注者及び受託者双方で協議の上、決定する。

以 上